

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37207	生活習慣病の理解 Understanding Ageing, Dementia,	梶原稚子・山下祐司	✓	専門	2	選択	1.2年前期

科目の概要

超高齢社会を迎えた日本では、介護ニーズはますます高まっている。社会全体で支える仕組みとして介護保険という仕組みが作られた。介護保険の利用者に対してより良い支援を提供することができるよう、介護の知識・技術だけでなく、利用者との接し方、介護・福祉の考え方なども学ぶことが求められている。利用者が持つ老化や生活習慣病、認知症、障害といった側面を理解することで、建学の精神である真心・努力・奉仕・感謝に繋げていく。(ディプロマ・ポリシー①②③④)

学修内容	到達目標
① 人のライフサイクルを知り、老化による心身の変化を理解する。 ② 生活習慣病、認知症、障害を理解し、尊厳をもった支援の必要性を理解する。 ③ 老化による生活やその人の望む寄り添える支援について理解する。	① 老化による心身の変化をかただの仕組みをふまえて述べるができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④) ② 生活習慣病、認知症、障害をかただの仕組みをふまえて述べるができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④) ③ 利用者の尊厳を守り、その人らしい暮らしを支えることを述べるができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。講師の発問に積極的に発言できる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	到達目標達成のために、他者からの意見を積極的に求めることができる。
	計画力	事前学習、レポートが多いため、計画的に自己学習を進めることができる。
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を意識して物事に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	事前学習の内容を分かりやすく発表できる。講義で獲得した知識を活用し、自分の意見を自分の言葉で他者に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を聴き、相手の表情やしぐさから理解を深める視点をもつことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：介護職員初任者研修テキスト（第2版・第2刷）1～3巻 長寿社会開発センター
 *漢字が弱い学生はるびがついているテキストを購入すること（値段は同じです）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：介護職員初任者研修

学修上の助言 **受講生とのルール**

生活習慣病、老化について高校生物のレベルで事前に学習すること。講義中は常にメモをとること。講義後は自己学習ノートを作成して知識の整理をする。高校生物の内容が理解できなければ、中学校の生物から各自で学習すること。	欠席した講義内容は、出席した学生に確認すること。課題忘れの言い訳で講義を妨害しないこと。講師の現場体験談はSNSや録音は禁止（個人情報保護法）課題は講義前に教卓の上に置いておくこと。（講義開始になったら、遅れとする）
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	31	①		高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点（テキストp.121～177）について小テストを3回行う。 点数は31点換算する。
				②		
				③		
		レポート	39	①	✓	○老化についてからだの仕組みについて事前学習 ①見る ②聞く ③皮膚の感覚 ④におい ⑤味覚（各2点） ⑥食べる ⑦呼吸する ⑧足を動かす（各3点）
			②	✓	○生活習慣病について、病態・検査・治療・病気の経過、生活上の留意点について事前学習（各5点） ⑨高血圧 ⑩脳梗塞、脳出血 ⑪狭心症、心筋梗塞 ⑫糖尿病	
		③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	・講義への参加態度やグループワークへの関わり方から各社会人基礎力を評価する。 ・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、グループワークへの非協力などが見られる場合は減点する。 (主体性) 自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる。 (実行力) 課題に取り組む中で困難が生じて、目標に向かって粘り強く取り組むことができる。 (課題発見力) 到達目標達成のために、他者からの意見を積極的に求めることができる。 (創造力) 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を意識して物事に取り組むことができる。 (発信力) 講義で獲得した知識を活用し、自分の意見を自分の言葉で他者に伝えることができる。 (傾聴力) 他者の意見を聴き、相手の表情やしぐさから理解を深める視点をもつことができる。 (規律性) 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、イメージした生活場面を生徒自身の言葉で説明できる。</p> <p>(S) 講義中のグループワークの進行で、その場の役割を果たし、チームの課題達成に貢献できる。</p> <p>(S) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解し、必要な支援について列挙できる。</p> <p>(A) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、その生活をイメージしテキスト等を用いて説明できる。</p> <p>(A) 講義中のグループワークの進行で積極的に参加し、課題達成に協力できる。</p> <p>(A) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を理解でき、必要な支援についていくつか説明できる。</p>	<p>(B) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し説明できる。</p> <p>(B) 講義中のグループワークの進行で、積極的に参加できる。</p> <p>(B) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性を知り、必要な支援について説明できる。</p> <p>(C) 対象者がその人らしく生活することの重要性を理解し、テキスト等を用いて説明できる。</p> <p>(C) 講義中のグループワークを協力しながら進行できる。</p> <p>(C) 生活習慣病・高齢者・認知症者・障害者の特性や必要な支援についてテキスト等を用いて説明できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	老化に伴うこととからだの変化と日常 【1】 ・高齢者の感情、記憶の特徴と日常生活への影響	講義	老化に伴う感情、記憶の特徴と日常生活への影響について記述できる。	(予習) p. 88~100 ①見る ②聞く ③皮膚の感覚 ④匂い ⑤味覚について解剖と体の仕組みを記述する。 (復習) 感情、記憶と日常生活への影響について自己学習ノートを作成する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	老化に伴うこととからだの変化と日常 【2】 ・老化が①見る ②聞く ③皮膚の感覚 ④匂い ⑤味覚への影響 ・日常生活への影響	発問で復習 講義 発表 (事前学習)	・①見る ②聞く ③皮膚の感覚 ④匂い ⑤味覚について解剖と体の仕組みが分かりやすく発表できる。 ・老化が与える身体への特徴と日常生活に与える影響を記述できる。	(予習) p. 102~106を読み、⑥足をあげる、⑦食べる について解剖と体の仕組みを記述する。 (復習) 事前学習への追記と生活への影響についてまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響【1】 ・フレイル ・高齢者の運動器系、消化器系の特徴と日常生活への影響	発問と事前学習復習確認 講義 発表 (事前学習) 演習 (高齢者体験)	・フレイルが説明できる。 ・事前学習が分かりやすく発表できる。 ・高齢者の運動器系、消化器系の特徴を記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。	(予習) p. 106~109 ⑧呼吸について解剖と体の仕組みは事前課題あり。 (復習) ⑥足をあげる、⑦食べる ことについて、事前学習への追記と日常生活への影響をまとめる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響【2】 ・高齢者の呼吸器系の特徴と日常生活への影響 ・高齢者の泌尿器系、生殖系、内分泌系、精神機能の特徴と日常生活への影響	発問と事前学習で復習確認 講義 発表 演習 (事前学習) 演習 (血中酸素の測定)	・高齢者の呼吸器系の特徴を記述できる。 ・泌尿器系、生殖器系、内分泌系の特徴について説明できる。 ・上記が日常生活に与える影響について記述できる。 ・事前学習が分かりやすく発表できる。	(予習) p. 112~123p. 172を読み、不明点はメモしていく。p. 172高血圧は事前学習あり。その他の疾患は病名に慣れておくこと。 (復習) 事前学習への追記と自己学習ノートの作成	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点【1】 ・高血圧 ・白内障、緑内障	発問と事前学習で復習確認 講義 発表 (事前学習) 演習 (血圧測定)	・発熱、口渇、むくみ、排便異常、排尿異常における高齢者の特徴が説明できる。 ・高血圧について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・事前学習が分かりやすく発表できる。 ・白内障と緑内障の症状について説明できる。	(予習) p. 133~139を読み、不明点はメモしておく。狭心症と心筋梗塞は事前学習課題あり。その他の誤嚥性肺炎と慢性閉塞性肺疾患は病名と症状になれておくこと。 (復習) 高血圧の事前学習の追記と自己学習ノートの作成	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点【2】 ・虚血性心疾患 (狭心症、心筋梗塞) ・誤嚥性肺炎、慢性閉塞性肺疾患	発問と事前学習で復習確認 講義 発表 (事前学習)	・虚血性心疾患について記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・誤嚥性肺炎と慢性計測性肺疾患の原因と症状が説明できる。	(予習) p. 165~169を読んで、不明点はメモしておく。脳疾患は事前学習課題あり。 (復習) 事前学習への追記、自己学習ノート作成	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点【3】 ・脳疾患 (脳梗塞、脳出血) ・パーキンソン病	小テスト1回目 発問と事前学習で復習確認 講義 発表 (事前学習)	・脳疾患のについて記述できる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・パーキンソン病の症状が説明できる。	(予習) P173~177を読んで不明点はメモしておく。糖尿病は事前課題あり。 (復習) 事前学習の追記、自己学習ノートの作成	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点【4】 ・糖尿病 ・介護保険の特定疾患	発問と事前学習で復習確認 講義 発表 (事前学習)	・糖尿病について述でできる。 ・上記が日常生活に与える影響を記述できる。 ・介護保険が適応となる特定疾患があることを説明できる。	(予習) P182~212を読んで、不明点はメモしておく。 (復習) 事前学習への追記と自己学習ノート作成	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	認知症の理解【1】 パーソン・センター ド・ケア 認知症と物 忘れの違い、認知症の 種類	小テスト2回目 発問で復習確認 講義	・パーソン・センター ド・ケア 認知症と物 忘れの違い、認知症の 種類について説明でき る。	(予習) P212～307を 読んで不明点をメモし ておく。 (復習) 自己学習ノー ト作成	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	認知症の理解【2】 認知症の人の健康管 理、こことからだの 変化と日常、家族支援 第15回事例を用いて援 助について説明	小テスト3回目 発問で復習確認 講義 グループワーク	・認知症の方の健康管 理方法が説明できる。 ・家族の受容過程での 援助方法が説明でき る。	(予習、課題) 15回目 の講義開始時間までに レポートを送付するこ と p. 312～障害について (復習) 自己学習ノー ト作成	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	障害の理解【1】 障害の基礎的理解	講義 振り返りシートの フィードバック	障害の概念とICF、障 害者福祉の理念につい て概説できる。	(予習) 障害者福祉の 概念についてまとめ る。 (復習) 障害者福祉の 理念をまとめる。	90	課題発 見力 発信力
12	障害の理解【2】 身体障害・知的障害	講義 振り返りシートの フィードバック	身体障害、知的障害に ついて概説できる。	(予習) 身体障害、知 的障害についてまとめ る。 (復習) 身体障害・知 的障害への基本的な介 護の考え方についてま とめる。	90	課題発 見力 発信力
13	障害の理解【3】 精神障害・強度行動障 害・難病	講義 振り返りシートの フィードバック	精神障害、強度行動障 害、難病について概説 できる。	(予習) 精神障害につ いてまとめる。 (復習) 難病について まとめる	90	課題発 見力 発信力 状況把握 力
14	障害の理解【4】 当事者・家族の心理や 受容と対人援助職とし ての役割	講義・演習 振り返りシートの フィードバック	家族の心理や受容につ いて概説できる。	(予習) 受容について まとめる。 (復習) 演習で学んだ ことをまとめる。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
15	事例を用いて尊厳ある 生活援助を老化、病気 の配慮を踏まえて考え る。	オンデマンド レポート	生活支援で注意する内 容が根拠づけて30以上 記載している。	(予習) 事例レポート を講義前までにクラス ルームに送付 (復習) 教員からのコ メントを見て2日以内 に修正しクラスルーム に送付	90	主体性 働きか け力 計画力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力